

日本漢方交流会 学術部主催  
**第10回 冬期合宿講習会**  
ご案内

テーマ：『漢方医薬学の実践』

日時：平成30年 1月 7、8日（日、月 連休） 1泊2日

場所：“ホテルビナリオ嵯峨嵐山”（旧コミュニティ嵯峨野）  
京都市右京区嵯峨天龍寺広道町 3-4 TEL (075) 871-9711  
最寄り駅：JR 山陰線『嵯峨嵐山駅』

費用：交流会会員 1万8千円（1泊4食付）  
一 般 2万1千円（1泊4食付）

定員：80名 **定員に達した為、受付を終了致しました。(11/8)**

**早々に多くのご参加表明をいただき、誠に有難うございました。**

講師：日本漢方交流会 師範 真鍋 立夫 先生

\* 漢方薬生薬認定薬剤師制度（必須研修 6単位 予定）

超高齢化社会に突入し、多臓器にわたる複雑な病が増加しています。不調を訴えるものの、年のせいで片付けられている方、難病でこれ以上治療方法がなく余命を宣告されている方、これは現在医療の中での限界であり、我々の“食養生”を含めた薬局漢方の中では、まだまだ病者に寄り添い、治療効果が上げられる方法論があります。その物差しになるのが、“陰陽虚実論”“五行論”などです。抽象的ですので、検査数値の物差しに慣れた医療者には馴染みづらい理論です。ですが、この相対的なバランス医学が身に付きますと、医療者としての可能性が広がります。合宿講習会の特質を活かし、十分にご質問に応じられます。又、全国から志を同じくする仲間が参集し、情報交換もできます。

薬局は“かかりつけ薬局”として形を整えつつあります。この様な環境下、漢方的な“証”の取り方が地域住民の服薬指導、健康管理に役立ちます。

今回の講師は、漢方交流会の前理事長の真鍋立夫先生です。長年のご経験を織り交ぜ、基礎から応用まで分かりやすくご教授頂けます。夕食後には“脈証”の取り方を実践します。是非、風光明媚な京都で、漢方医薬学を身に付けませんか。

申込郵便振替：口座番号 00920-4-156702 ・ 口座名義：日本漢方交流会 合宿講習会  
連絡先：日本漢方交流会 学術部 須藤 朝代  
FAX：075-314-7417 ・ E-mail：nishikyougoku-yakkyoku@leto.eonet.ne.jp

**\* 宿泊部屋は基本 2～3 人部屋ですので、同室希望者がおありの方は振込用紙にご記入下さい。又、お振込頂きました参加費は返却できません。参加者情報は漢方交流会のホームページに掲載しています。**